

## 札幌市の健康課題等に関する現状資料

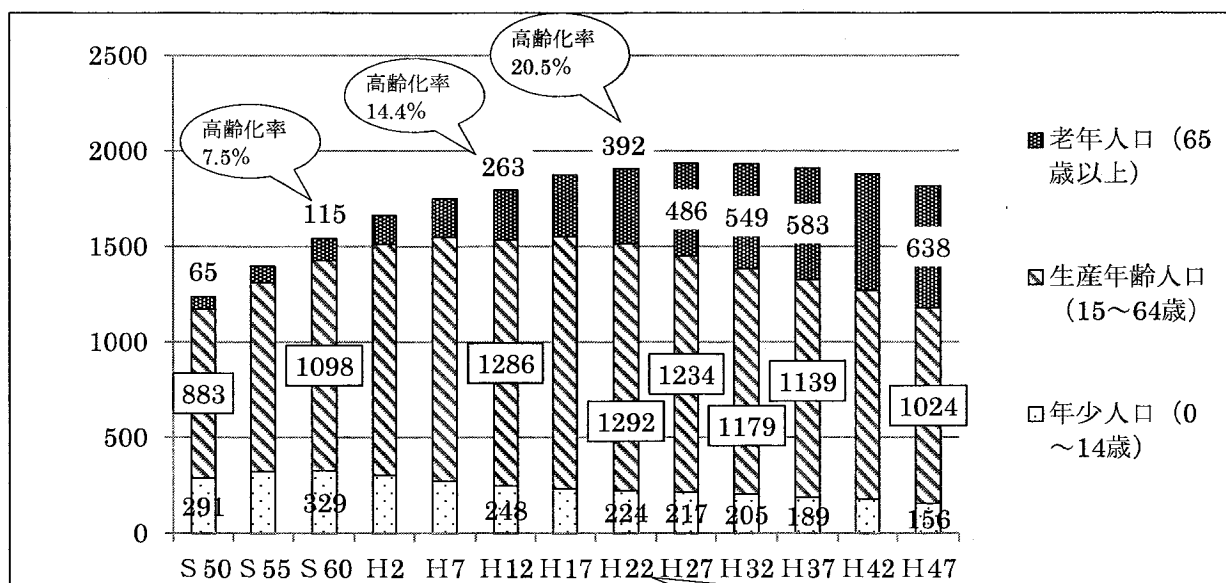
### 1 札幌市の人口

平成24年（住民基本台帳人口）に超高齢社会に突入している。

人口は、平成27年をピークに減少することが予測されている。

平成37年頃には、札幌市民の約3人に1人が65歳以上の高齢者になることが予測されている。

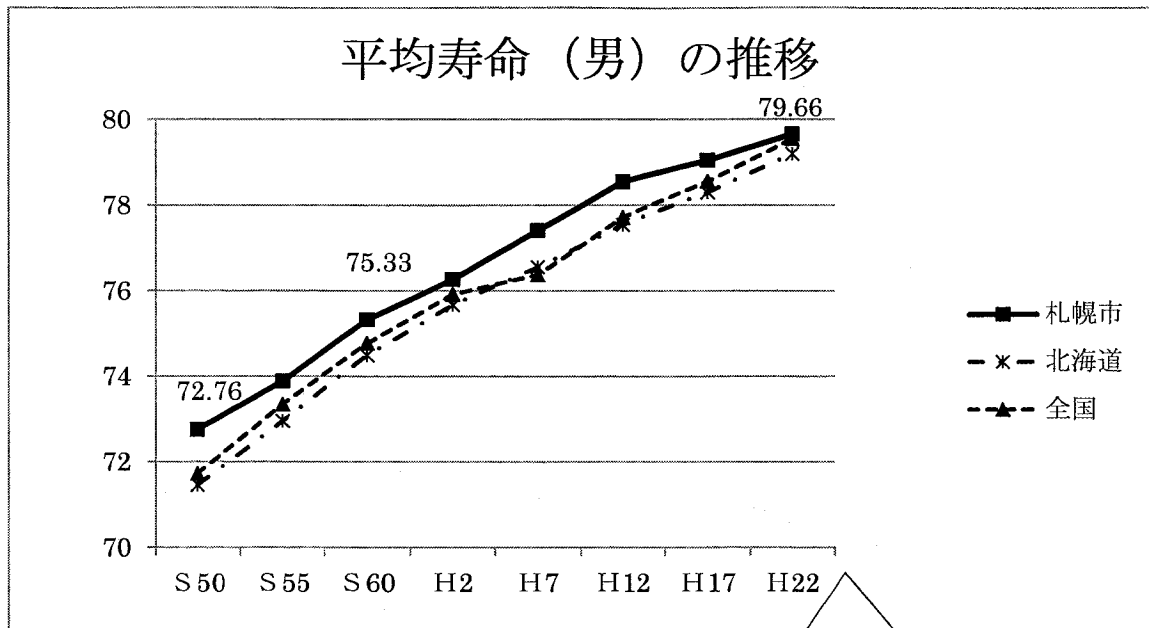
札幌市の人口の推移（H22以前は国勢調査、H27以降は市長政策室による推移予測、単位千人）



H23年 老年人口 395千人、生産年齢人口 1,284千人、年少人口 395千人、高齢化率 20.7%  
H24年 老年人口 413千人、生産年齢人口 1,273千人、年少人口 225千人、高齢化率 21.6%

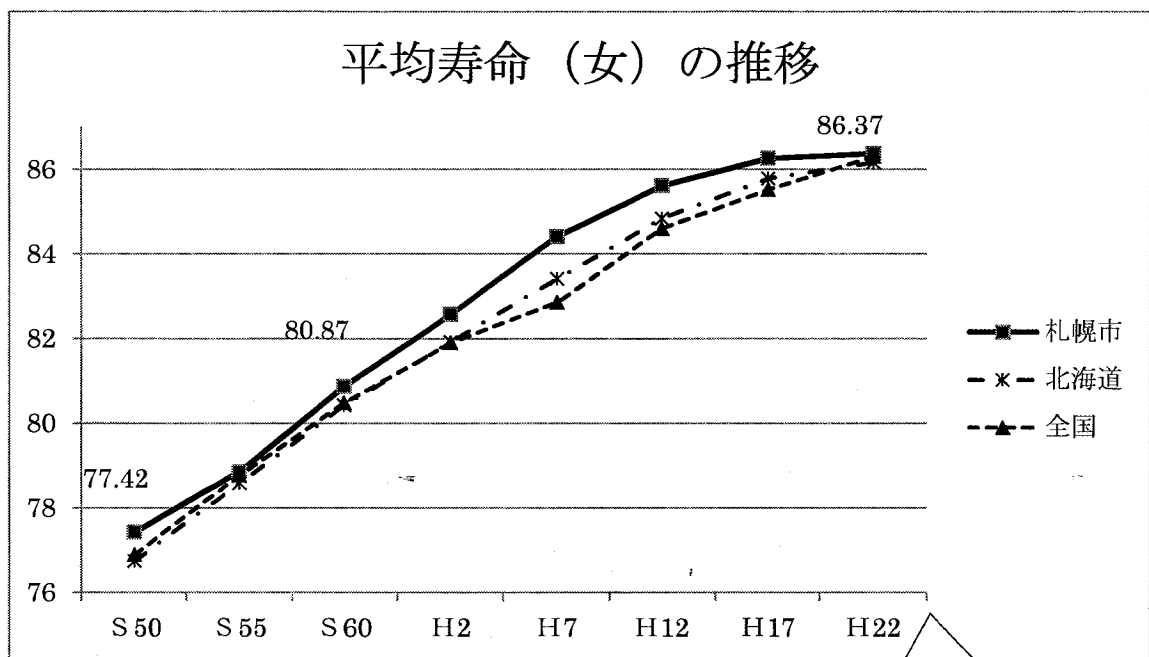
【出典】札幌市市長政策室「札幌市まちづくり戦略ビジョン関連データ」、平成23・24年は各年10月1日時点での住民基本台帳人口より。

※高齢化社会…高齢化率 7~14%  
高齢社会……高齢化率 14~21%  
超高齢社会…高齢化率 21%以上



【出典】札幌市衛生年報

H23年 全国 79.44、全道 79.45、札幌市 79.69 (歳)

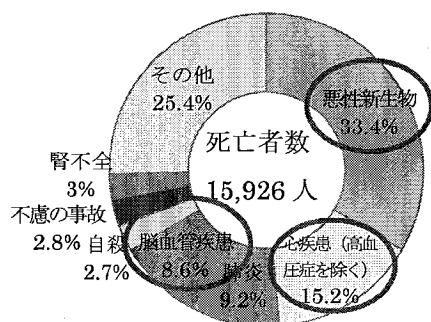


【出典】札幌市衛生年報

H23年 全国 85.90、全道 86.06、札幌市 86.35 (歳)

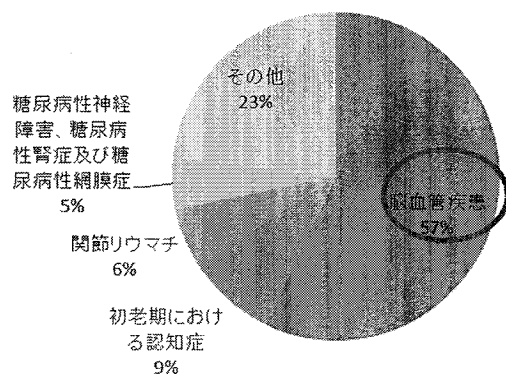
## 2 死因、医療費等における生活習慣病の割合

平成 23 年の死因別死亡割合は、以下のとおり 57.2%が生活習慣病で占めている。



【出典】札幌市衛生年報

平成 24 年 3 月の札幌市の介護保険第 2 号被保険者(40 歳～64 歳)の原因疾患別割合は以下の図のとおりで、脳血管疾患が約 6 割を占めている。



疾患名	件数	(人)
脳血管疾患	1,214	
初老期における認知症	188	
関節リウマチ	125	
糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	107	
その他	493	
合計	2,127	

## 札幌市国民健康保険の医療費

平成 23 年 5 月診療分による集計によると、メタボリックシンドローム関連疾病が全体の医療費に占める割合は、全年齢の約 3 割であるが、30 歳を超える年齢層から徐々に高くなっている。(次ページ)

※メタボリックシンドロームの重症化により発生する疾病名

糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患（高脂血症、高血圧性疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化（症）、その他の脳血管疾患、動脈硬化（症）、その他の循環器系の疾患、アルコール性肝疾患、腎不全  
メタボリックシンドローム関連疾病の状況

### 【男女合計】

年齢階層	件数（件）		医療費（千円）	
		全体に占める割合		全体に占める割合
0～4歳	74	0.76%	9,011	5.44%
5～9歳	56	0.93%	1,551	2.44%
10～14歳	57	1.21%	4,982	9.23%
15～19歳	117	2.65%	4,085	6.43%
20～24歳	232	4.28%	6,281	6.65%
25～29歳	307	4.13%	9,735	6.47%
30～34歳	454	5.37%	14,679	7.93%
35～39歳	781	7.90%	33,497	12.95%
40～44歳	1,247	12.55%	67,929	20.44%
45～49歳	1,758	17.33%	87,418	22.84%
50～54歳	2,804	24.20%	140,840	29.29%
55～59歳	6,243	32.57%	245,598	30.46%
60～64歳	17,288	37.04%	651,801	36.08%
65～69歳	24,584	39.57%	555,112	29.78%
70～74歳	30,456	38.08%	772,752	32.64%
全年齢	86,458	29.24%	2,605,271	28.71%

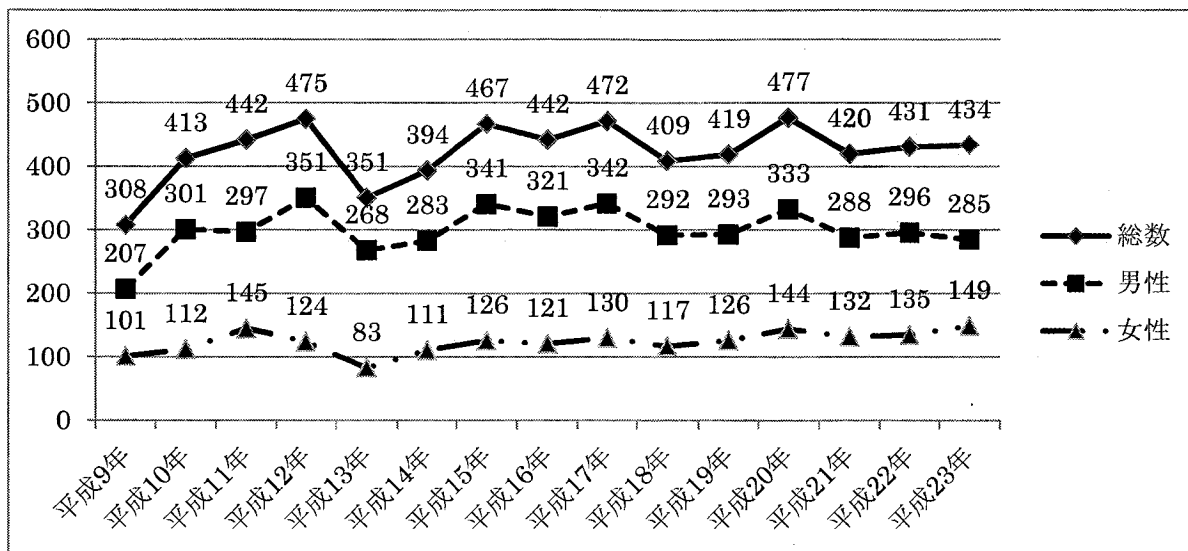
【出典】平成 24 年度札幌市国民健康保険医療費適正化計画

### 3 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

#### (1) こころの健康

札幌市の自殺者数は、平成10年に400人を超え、その後も概ね400人を超えた人数で推移している。

札幌市の自殺者数の推移



【出典】札幌市衛生年報

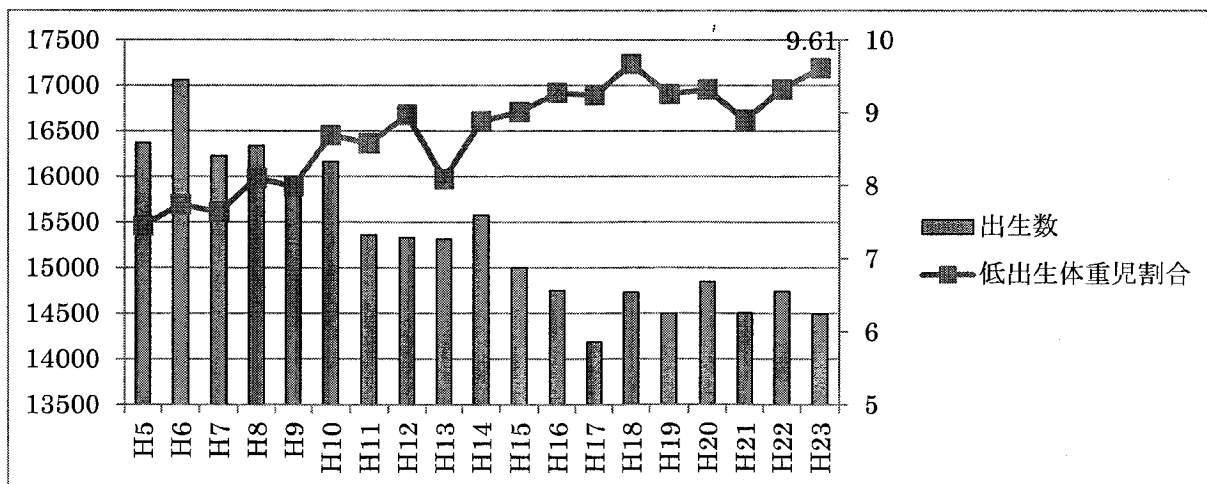
#### (2) 次世代の健康

札幌市においては、「健康さっぽろ21」において、「母子保健」の領域を設け、取組を行ってきた。

札幌市の出生数及び低出生体重児の割合は、次の図のとおりであり、国と同様、低出生体重児の割合はおおむね増加傾向にある。

※低出生体重児：出生時の体重が2,500g未満の出生

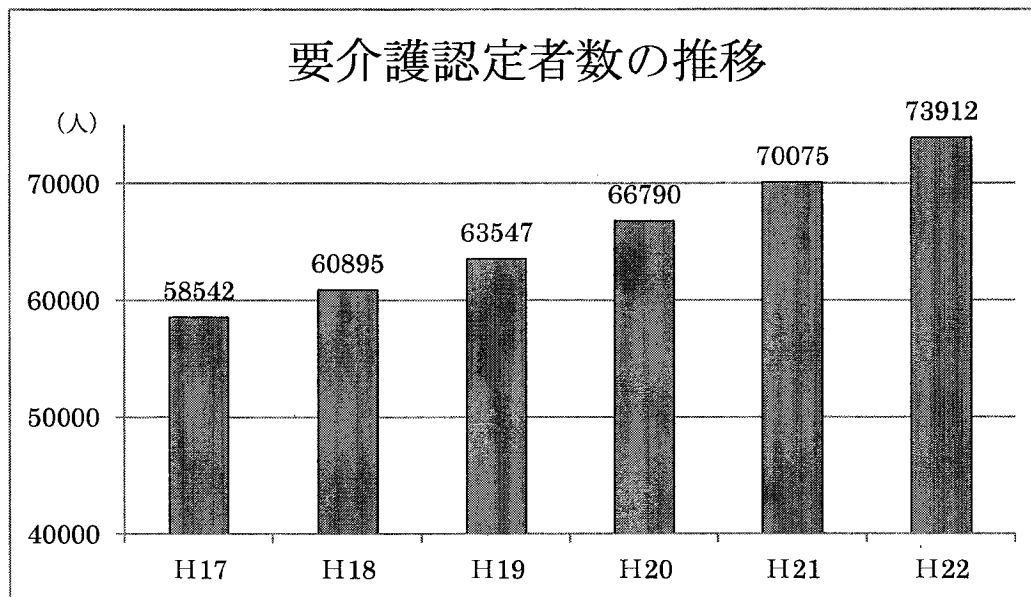
出生数及び低出生体重児の割合



【出典】札幌市衛生年報

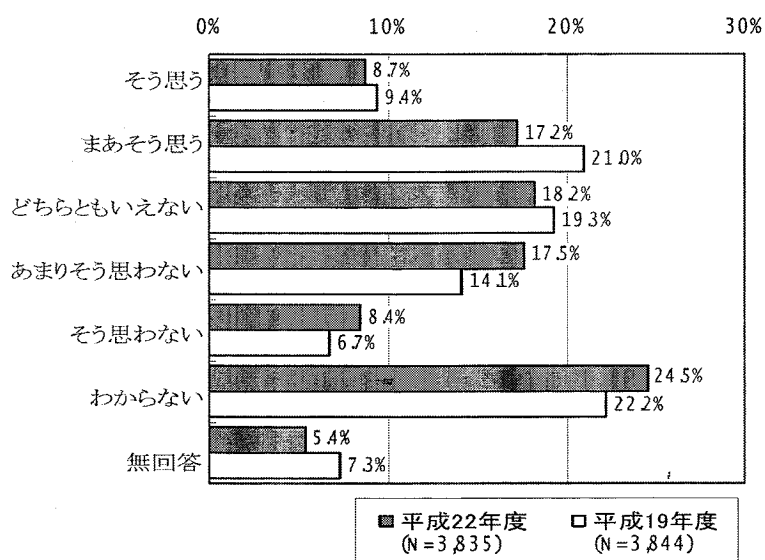
(3) 高齢者の健康

老年人口の増加に伴い、要介護認定者数は増加傾向にある。平成 26 年度には、約 8 万 9 千人となる見込みである（札幌市介護保険事業計画）。



【出典】札幌市統計書平成 23 年版

積極的に社会参加できる機会（平成 19、22 年度の比較）



【出典】平成 22 年度高齢社会に関する意識調査報告書

高齢者の社会参加について、札幌市の現状としては、「健康さっぽろ 21」の最終評価において、「地域活動等に参加している 60 歳以上の人」の割合は男性で 37.9%、女性で 42.3%となっており、計画策定時とほぼ横ばい、平成 20 年の内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」での男性 64.0%、女性 55.1%と比べ低い状況である。

また、札幌市の平成 22 年度高齢社会に関する意識調査では、積極的に社会参加できる機会があると思うか、の質問に対し、平成 19 年度と比較して「そう思う」「まあそう思う」と答えた人の割合が、4.5 ポイント減少している。